



発行責任者 堤 敏博

総合的な学習「バラモンプラン発表会」

校長 堤 敏博

本校では、総合的な学習の時間において、「社会探求型課題研究」を中心とした「バラモンプラン」に力を入れて取り組んでおり、11月7日に本校体育館で、2年生普通科が取り組んできた成果を発表する「平成30年度バラモンプラン発表会」を開催しました。

当日は、10月18日に62の班が参加した予選を勝ち抜いた8つの班が、1年と半年をかけて取り組んできた成果の発表してくれました。また、昨年度途中から今年度にかけて文部科学省の「実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究」の研究指定校となっており、その成果を表す最後の発表会でもありました。さらに、NP〇カタリバが行っている探求型学習プログラム「マイプロジェクト」の予選会も兼ねており、上位3チームが九州大会への出場権を獲得しました。

さて、当日の発表は、どの班も充実した内容で「なぜ、この取り組みをしようと思ったのか」から始まり「どのようなことを調べたか」「そのためにどのような行動に移したのか」など、試行錯誤しながらも、自ら考え、自分の意志で行動に移し、取り組んでいるプロジェクトを通じて成長し、その学びを次に生かそうとする姿勢を感じることができたすばらしい発表ばかりでした。

数年前から激動の時代に入ったといろいろなところで耳にします。AI（人工知能）の発達で社会構造が大きく変わり、社会が必要とする人材も大きく変化しています。「情報を処理する力」を必要とする社会から「情報を編集する力」を必要とする社会に変化しているともいわれています。自分の持っている知識や情報をそのまま使うのではなく、それらをそれぞれが自分で考えることでうまく融合させ、企画し、それを行動に移していく力が必要な時代になってきていると思います。このバラモンプランの取り組みは、この社会の流れに即したものではないかと思っています。

さらに、高校時代は、正解のない問題に向き合い、探求することで、未来への想像力が引き出されるといいます。「バラモンプラン」は、こうした思いを含め、この高校時代に、郷土、五島の魅力や課題、活性化について当事者意識をもって探求することで、自分の進路を考え、さらには、高校卒業後、大学等で日本、世界の課題に取り組み、そして、そのノウハウを持って、できれば五島に戻ってきてほしい、戻ってこなくても、五島のことを思いながら活躍してほしいという願いがこもっています。8本の発表や、休憩時に行われるポスターセッションは、そのような経緯や思いが込められたものでした。これからも改善すべきところには改善を加えながら、この取り組みをより良いものに発展させていきたいと考えています。

准看護師資格試験100日前集会

11月7日(水)に准看護師資格試験100日前集会が開催され、3学年主任の原口先生から激励の言葉をいただきました。1年生の梅本雪乃さん・2年生の針崎透子さんから受験に向けてのエールが送られた後、3年生代表の大川翔吾くんが、27人全員での合格を誓う言葉が述べられました。原口先生からは、「近い将来、どの職域にもAI導入が進んでいくと考えられるが、看護領域においては、AIではなく“人”にしかできないことがある。その職業に就こうとしていることを誇りに全員で資格試験に合格して欲しい。」という言葉がいただきました。3年生にとって、受験当日、自己ベストが出せるよう、残りの100日を大切に地道な努力を続けていこうと改めて誓うことができた集会になりました。

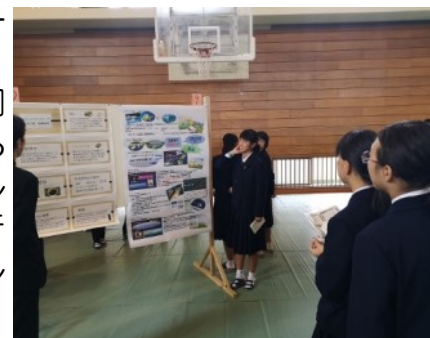


バラモンプラン発表会

11月7日(水)に本校メインアリーナにて、第2学年バラモンプラン発表会を行いました。今年度は「社会探究型課題研究」ということで、2年生が約1年間かけて研究してきたプロジェクトについて発表がありました。形式はプレゼンテーションとポスターセッションで行いました。



ここまで2年生は、地域の方や市役所や同窓生などに自分でアポイントを取りながらアクションを起こしてきました。印象的だったのは、アクションを通して壁にぶつかって軌道修正をしたというプロジェクトもあり、その試行錯誤から学ぶことが多かったという意見でした。アクションはもう少し続きますが、一旦ひと段落です。みなさんお疲れ様でした。



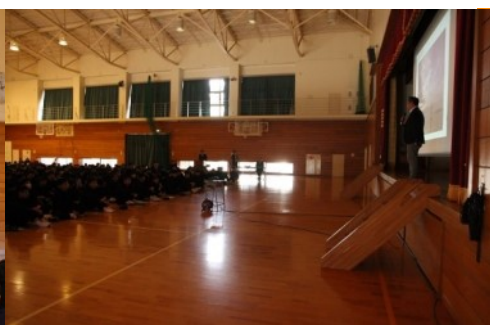
人権教育

11月6日(火)に人権教育が行われました。今年度はアニメ「めぐみ」を視聴し、拉致という人間の自由を奪う行為が究極の人権侵害につながっているということを再認識しました。これからの社会を担う生徒たちが、今後このような負の連鎖を生まないために、人権についてしっかりと考えていく良い機会となりました。



人生の達人セミナー

11月1日(木)人生の達人セミナーが行われました。今年度は、特別養護老人ホーム ゆうゆうの里 施設長の門原淳一氏を講師にお招きし、「マチをプロデュースする話」と題して講演を頂きました。五島の人口減少を食い止めるために、働きやすい職場づくりなどの様々な取り組みをされており、大変勉強になりました。生徒からも多くの質問が出ました。バラモンプランの活動にも活かせるような内容で、とても有意義な時間となりました。



長崎県高等学校駅伝競走大会

(陸上部)

11月2日(金)秋晴れの中、雲仙市小浜町において長崎県高等学校駅伝競走大会が開催されました。男子が7区間42.195km、女子が5区間21.0975kmで、朝10時に女子、昼12時20分に男子がスタートしました。結果は、男女ともに



21位でした。今年度は、長距離専門の部員が少なく、サッカー部や短距離の生徒にも協力してもらい、駅伝に挑戦しました。良いも悪いも今の過ごし方が歴史になりますので、常に挑戦者として日々精進していきます。

薬物乱用防止教室

10月23日(火)に五島警察署生活安全課の田中俊大様を講師にお招きし、薬物乱用防止教室を行いました。講話では、薬物乱用に関わる身近な問題として、五島市内や長崎県内で起こっている実際の事案について挙げられました。このことについて生徒達に考えてもらい、身近な事として正しい知識を身につけ「自分の身体は自分で守る」意識を高めてほしいと、お教えいただきました。



芸術鑑賞会

11月13日(火)福江文化会館にて、芸術鑑賞会が行われました。今年は音楽ということで、東京サロンシンフォニックオーケストラ『キャラバン隊』によるクラシックコンサートでした。ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロの弦楽器に、ピアノ・トランペット・クラリネットの楽器、オペラ歌手の声も加わり豪華なコンサートでした。演奏だけでなく、生徒・職員もステージに上がる体験コーナーも充実しており、とても楽しめる内容となっていました。また、最後には本校吹奏楽部との共演もあり、一体感のある演奏会となりました。

普段なかなか目にすることのできない本物の演奏に触れることができ、充実した時間を過ごせたようです。

来年の芸術鑑賞会もお楽しみに！



平成30年度 長崎県高等学校総合文化祭【美術部門】結果

【絵画部門】

優秀賞	2年	佐々野 優香
		(九州大会に推薦)
優秀賞	2年	戸野本 早喜
優秀賞	2年	奥野 美咲
入選	1年	川村 果歩
入選	1年	松田 朋菜

【デザイン部門】

優秀賞	2年	平山 温人
優秀賞	2年	平田 明日香
入選	2年	林 海音



「エチュード」
佐々野 優香